

岡山県感染症週報 2012 年 第 31 週 (7 月 30 日～8 月 5 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』を発令しました。(8 月 7 日)

◆2012 年 第 31 週 (7/30～8/5) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 30 週 2 類感染症 結核 1 名 (50 代 女)

第 31 週 2 類感染症 結核 2 名 (20 代 女 1 名、30 代 女 1 名)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 11 名 (O26: 幼児 男 7 名・女 3 名、30 代 女 1 名)

4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (80 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

○ヘルパンギーナは、今週減少に転じました。

■倉敷市の 3 保育園で腸管出血性大腸菌 O26 感染症の集団発生がありました。(8 月 4 日: 倉敷市報道発表)

【速報 第 32 週】

○腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O111: 30 代 男 1 名、O157: 幼児 女 1 名) の発生がありました。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、2012 年は 8 月 9 日までに 105 名、8 月の発生は 83 名になりました。岡山県では 6 月 28 日「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令し、注意喚起を図ってきましたが、8 月の患者数が 30 名を越えたことから、8 月 7 日、「**腸管出血性大腸菌感染症警報**」を県下全域に発令し、より一層の注意を呼びかけています。症状や予防法など、詳しくは岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症 警報 発令中!](#)』をご覧ください。
また、倉敷市の 3 保育園で腸管出血性大腸菌 O26 感染症の集団発生がありました。この事例における感染者数は、8 月 9 日までに 82 名 (園児 74 名、職員 7 名、接触者 1 名)、原因・感染経路については現在調査中です。
2. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者数は、第 24 週以降増加がづいていましたが、今週は減少に転じました (定点あたり 3.04 → 2.13 人)。例年 9～10 月頃まで流行がみられますので、今後も県内の発生状況に注意するとともに、感染予防に努めて下さい。詳しい発生状況などは「**今週の注目感染症**」をご覧ください。
3. **風しん**は、岡山県では発生がなかったものの、全国では依然として増加しています。8 月 1 日までの累計報告数は、前週より 141 名増加し 917 名、東京都 (28 名)、大阪府 (19 名)、兵庫県 (14 名)、神奈川県 (13 名) など、近畿地方、関東地方で増加しています。また、7/26～8/1 の間には、一週間ごとの報告数としては 2012 年で最も多い、108 名が報告されています。患者は、男性が女性の約 3.3 倍、予防接種を受ける機会がなかった成人男性 (20～40 代) を中心に発生しています。([全国風しん発生動向調査](#) [国立感染症研究 HP](#)、[岡山県感染症情報センターHP](#))

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↓	
咽頭結膜熱	↘	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	★
感染性胃腸炎	→	★★	水痘	↘	★
手足口病	↘	★	伝染性紅斑	↓	★
突発性発疹	↘	★★	百日咳	→	★
ヘルパンギーナ	↘	★★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↑	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→	★	クラミジア肺炎	↑	★

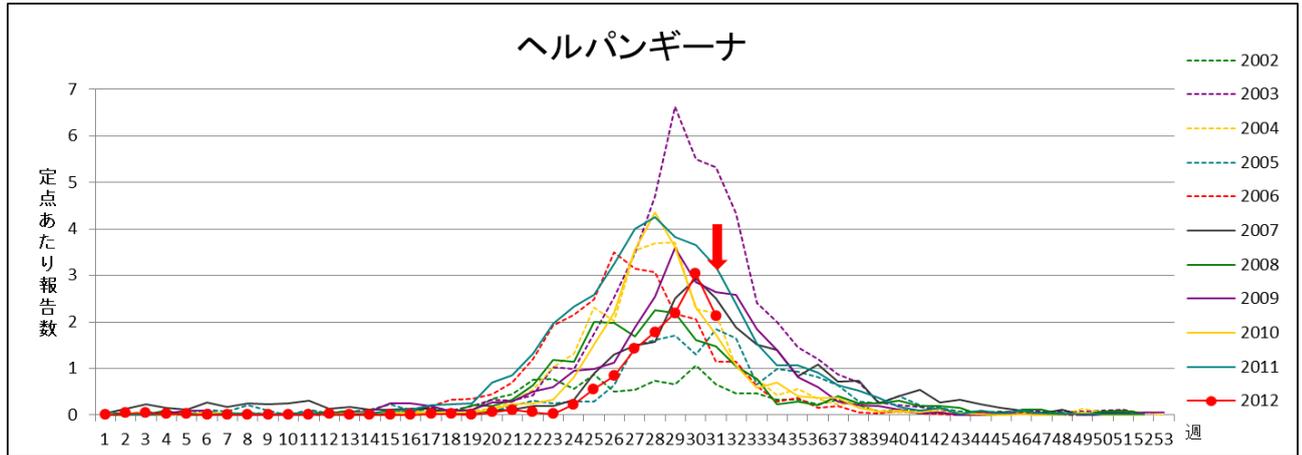
【記号の説明】

前週からの推移： ↓ : 2倍以上の減少 ↓ : 1.1~2倍未満の減少 → : 1.1未満の増減
 ↗ : 1.1~2倍未満の増加 ↑ : 2倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い
 ※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. ヘルパンギーナ

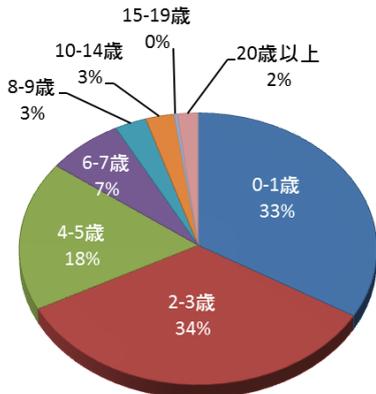


ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数は、第24週以降増加がつついていましたが、今週は減少に転じました（定点あたり3.04 → 2.13人）。岡山市（3.71人）では患者が多いものの、県内全域で患者が減少しました。

年齢別では0-3歳の乳幼児が全体の約67%を占め、5歳以下を中心に感染が拡大しています。

例年、9月～10月頃まで流行が見られる感染症ですので、県内の発生状況に注意し、手洗いを行うなど感染予防に努めましょう。体調を崩しやすい時期です。乳幼児が患者の中心ですので、お子さんの体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

2012年 岡山県ヘルパンギーナ患者の年齢分布
 (2012年 第1週～第31週)



【ヘルパンギーナとは】

夏に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表疾患です。A群コクサッキーウイルスなどが原因となります。突然の発熱につづいて咽頭痛が出現し、口腔内に直径1～2mmの赤い小水疱が多数出現するのが特徴です。通常2～4日で軽快し、予後は良好な疾患ですが、発熱時に熱性けいれんや髄膜炎を伴うことがあります。

ウイルスに特異的な治療法はなく、対症療法が中心となりますが、口腔内の小水疱が破れて痛みを伴うため、乳幼児では食べ物や水分が取りにくくなり、脱水症につながる場合がありますので注意が必要です。

保育園や幼稚園では集団発生することがあります。うがい・手洗いを励行し、おむつや便の取り扱いに注意して、感染予防と拡大防止に努めましょう。

保健所別報告患者数 2012年 31週 (2012/07/30~2012/08/05)

2012年8月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	0.22	2	0.14	-	-	7	0.70	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.50	3	0.21	14	1.27	-	-	5	0.71	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	231	4.28	27	1.93	58	5.27	62	6.20	13	1.86	33	8.25	11	5.50	27	4.50
水痘	24	0.44	6	0.43	2	0.18	7	0.70	2	0.29	3	0.75	2	1.00	2	0.33
手足口病	27	0.50	14	1.00	9	0.82	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
突発性発疹	30	0.56	14	1.00	5	0.45	5	0.50	4	0.57	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	3	0.06	-	-	-	-	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	115	2.13	52	3.71	21	1.91	7	0.70	16	2.29	2	0.50	4	2.00	13	2.17
流行性耳下腺炎	19	0.35	8	0.57	5	0.45	6	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	-	-	2	2.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 31週 (2012/07/30～2012/08/05)

2012年8月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	0.22	2	0.14	-	-	7	0.70	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.50	3	0.21	14	1.27	-	-	5	0.71	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	231	4.28	27	1.93	58	5.27	62	6.20	13	1.86	33	8.25	11	5.50	27	4.50
水痘	24	0.44	6	0.43	2	0.18	7	0.70	2	0.29	3	0.75	2	1.00	2	0.33
手足口病	27	0.50	14	1.00	9	0.82	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
百日咳	3	0.06	-	-	-	-	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	115	2.13	52	3.71	21	1.91	7	0.70	16	2.29	2	0.50	4	2.00	13	2.17
流行性耳下腺炎	19	0.35	8	0.57	5	0.45	6	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第31週 2012/07/30~2012/08/05)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	-	1	-	-	3	-	1	-	-	-	-	1	1	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	-	-	1	1	1	4	5	7	-	2	1	5	-	-
感染性胃腸炎	231	3	18	34	17	24	17	7	21	15	8	8	24	6	29
水痘	24	-	-	3	4	4	4	4	1	-	-	1	2	-	1
手足口病	27	-	1	11	4	6	2	2	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-
突発性発疹	30	-	14	14	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	115	1	8	31	28	17	6	7	4	1	3	1	5	2	1
流行性耳下腺炎	19	-	-	-	-	5	5	2	3	1	-	2	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	4

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

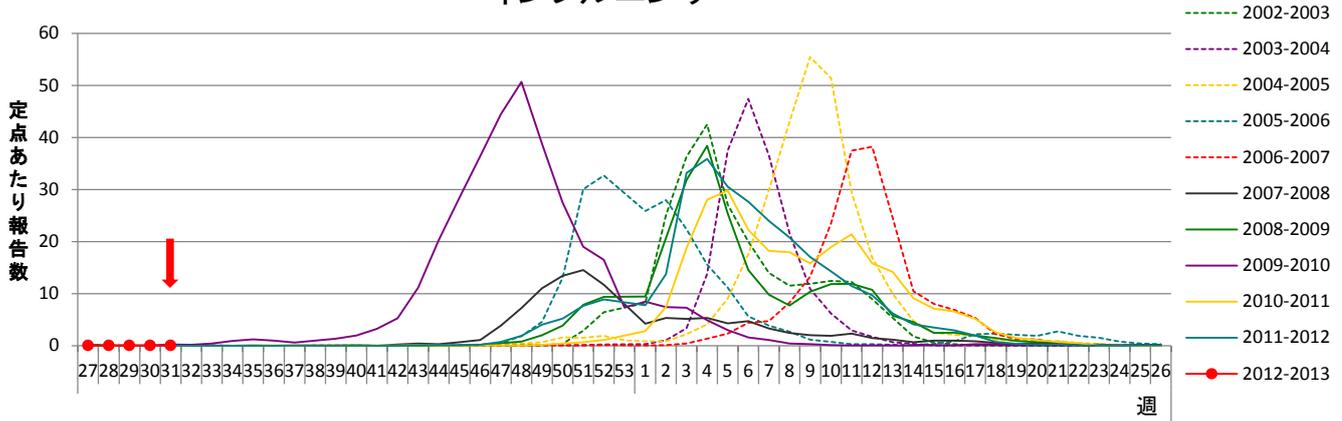
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

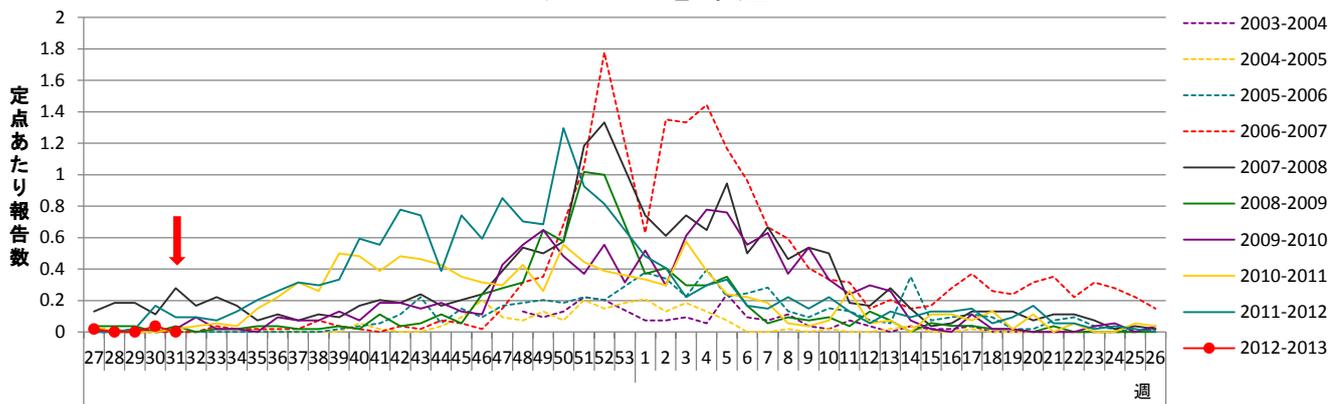
2012年 31週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	259	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	11	32	67
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	1	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	1	13	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	9	11	ウイルス性肝炎*3	-	4	9	急性脳炎*4	-	1	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	10	15	ジアルジア症	-	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	4	9	破傷風	-	1	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-	風しん	-	5	1
	麻しん	-	6	4		-	-	-		-	-	-

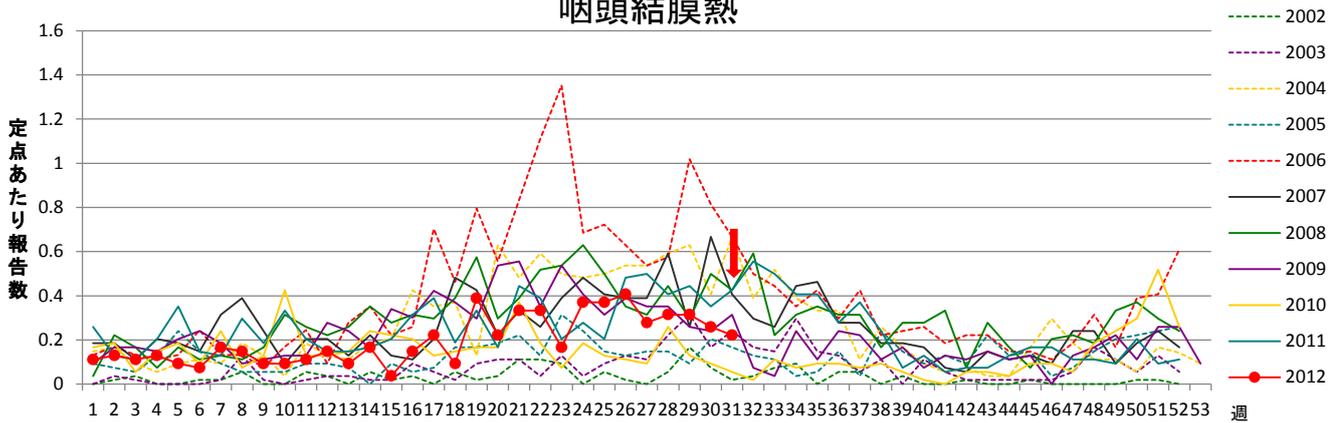
インフルエンザ



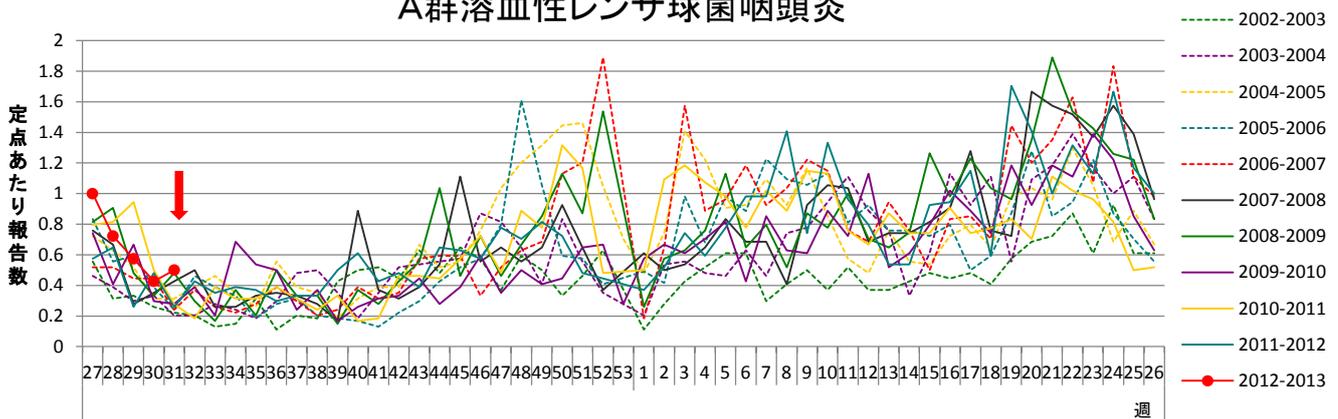
RSウイルス感染症



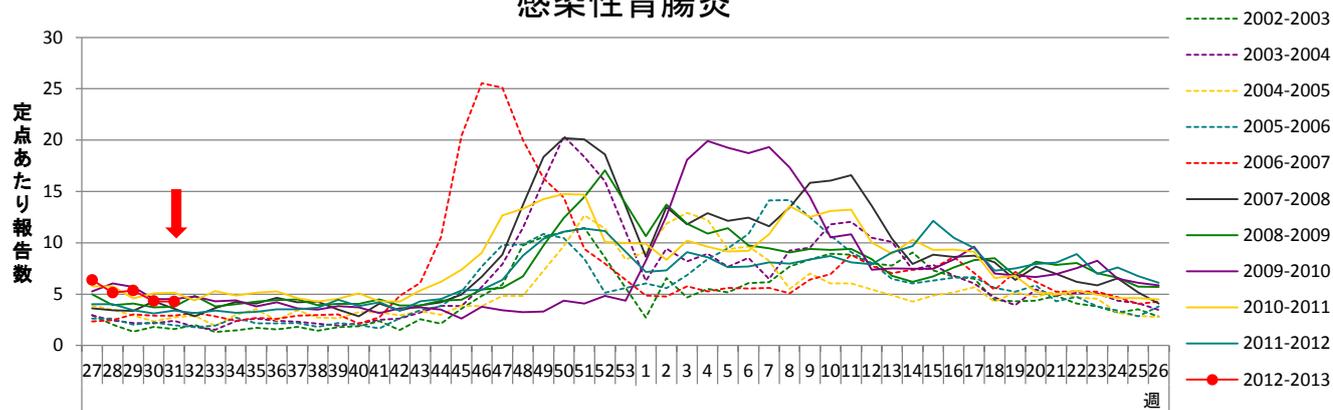
咽頭結膜熱



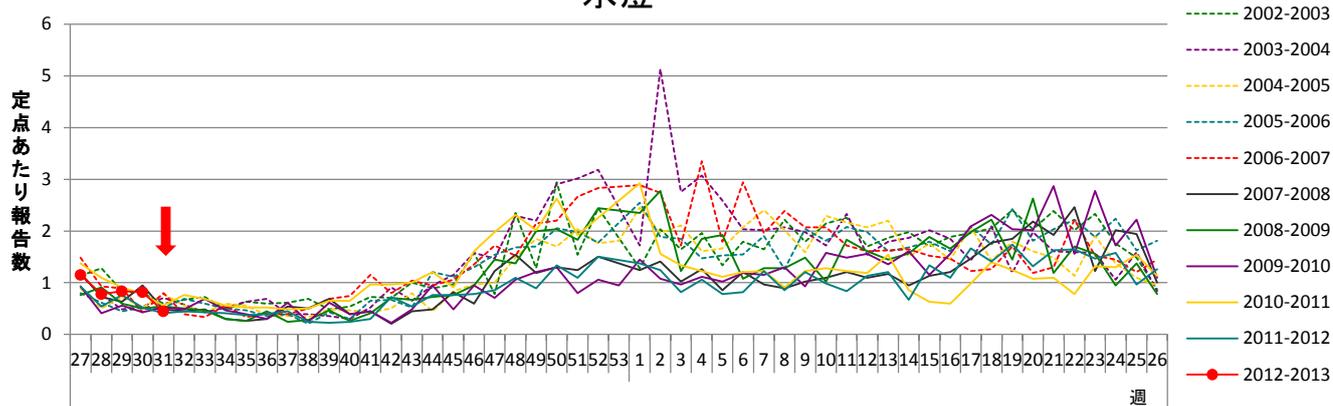
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



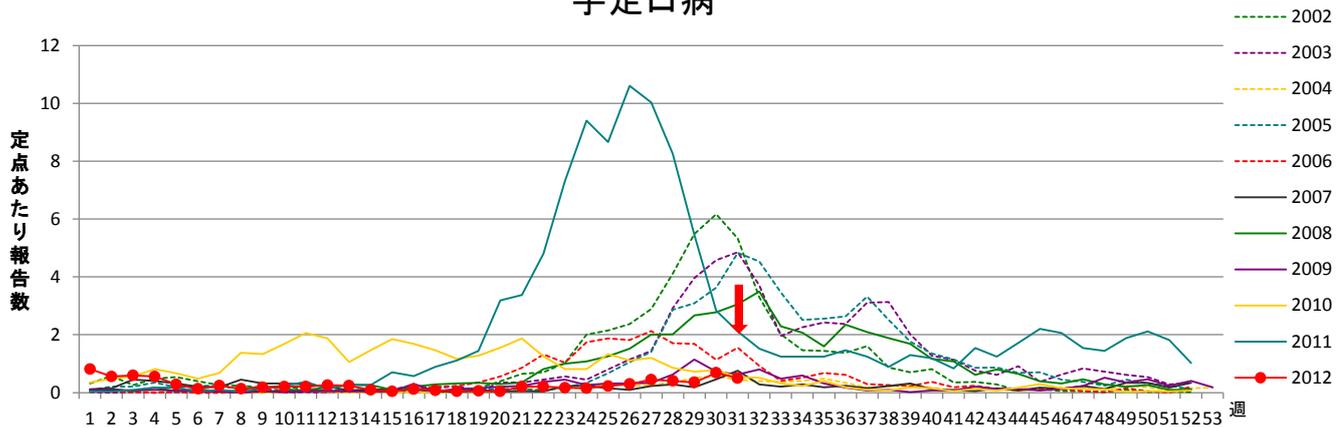
感染性胃腸炎



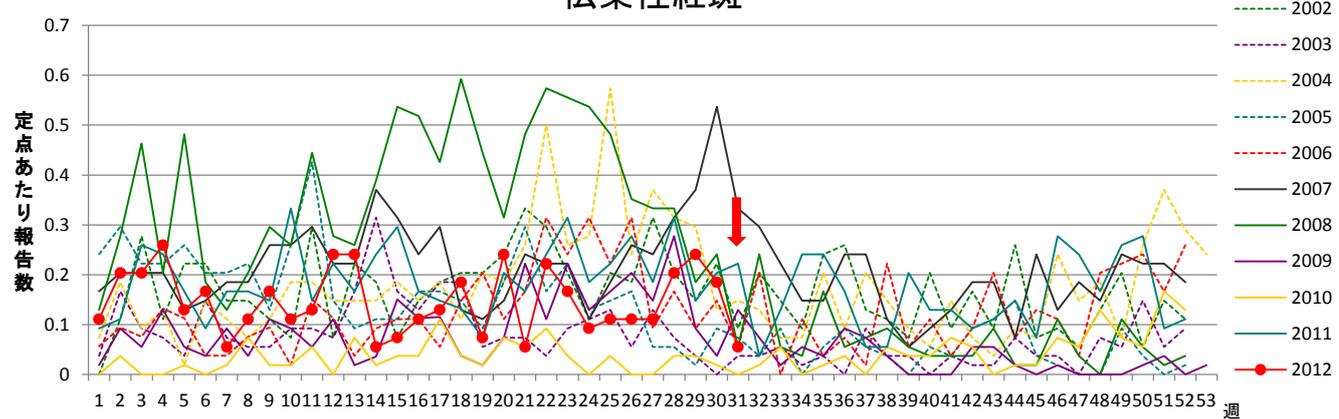
水痘



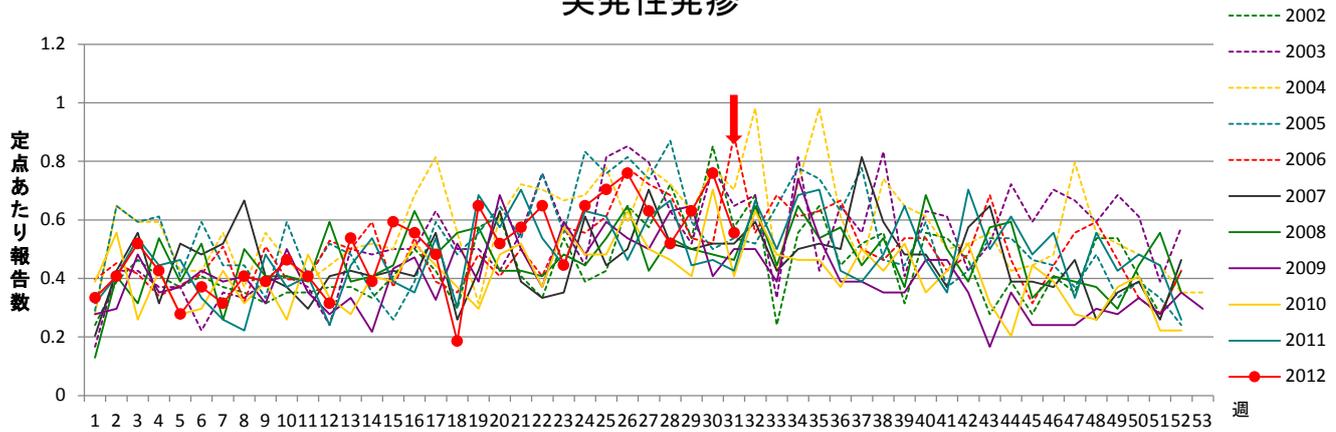
手足口病



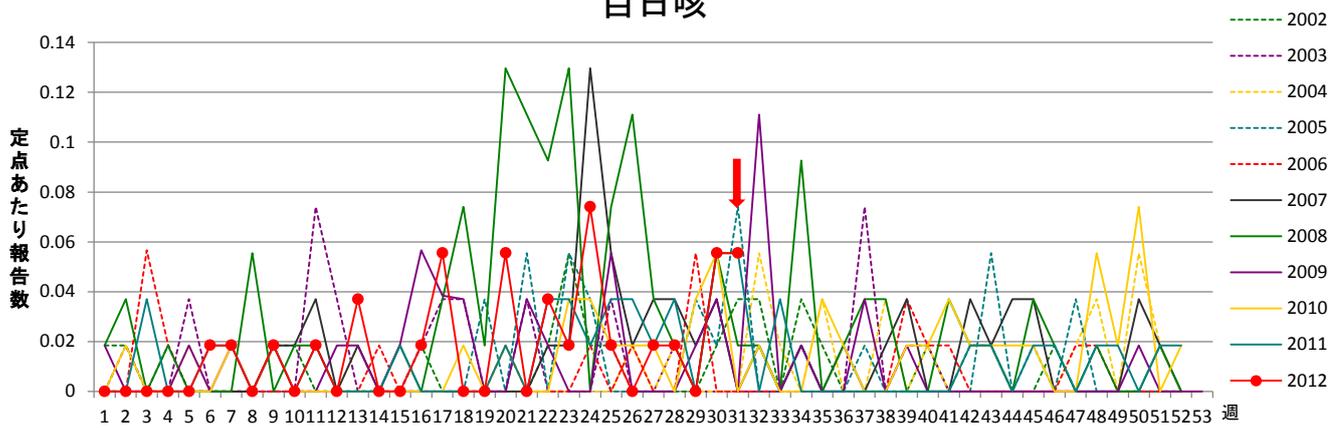
伝染性紅斑



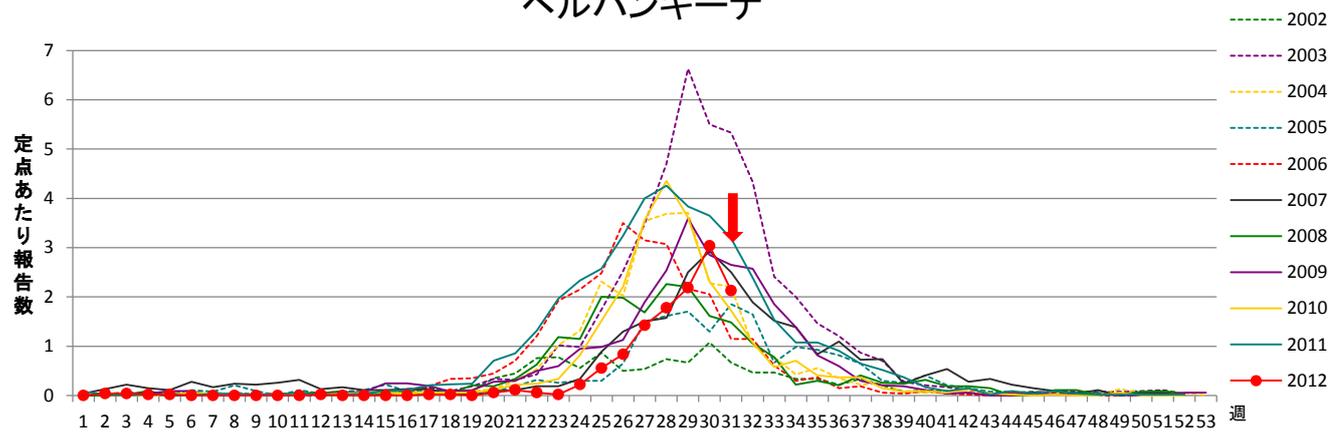
突発性発疹



百日咳



ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

